

### 第3回八百津町総合戦略会議録

会議名	整理番号
令和元年度第3回八百津町総合戦略会議	
【出席者】*敬称略	会議日時
委員10名（桑原委員の代理として安藤様出席） 八百津町役場 副町長、総務課課長以下4名	令和2年1月29日（水） 19:00～21:00
【ぎょうせい】	協議場所
研究員：後藤	八百津町役場防災センター 2階

推進委員会における決定事項等
<p><b>【第3回総合戦略会議要旨】</b> 以下のとおり第3回総合戦略会議を実施。</p> <p>■資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 八百津町人口ビジョン（将来人口推計更新資料）</li> <li>・資料2 総合戦略新旧対照表</li> <li>・資料3 令和元年度八百津町総合戦略会議委員からの意見及び事務局の考え方</li> </ul> <p>■主な協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会の挨拶</li> <li>2. 副町長挨拶 ※十六銀行八百津支店桑原委員代理として安藤代理出席</li> <li>3. 八百津町人口ビジョンについて 資料1 八百津町人口ビジョンについて事務局より説明</li> </ol> <p><b>【質疑応答】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標人口を変更する理由は。 ⇒現行計画では目標7,500人となっているが、直近の社人研推計準拠が3,539人となっており乖離があるため、現状に合わせた目標設定にしていきたい。</li> <li>・八百津町の全体人口が減ると、世帯も減るという理解で良いか。 世帯があるから人口は残るという理解か。 ⇒世帯も減ると思う。第1期計画の合計特殊出生率2.07と大きく乖離している。 昨年は、転入267名、転出264名とわずかだが転入が上回った。出生は35名、死亡者186名の自然減は対処しにくい問題であることはご理解いただきたい。</li> <li>・この資料は7,536人という推計値を4,679人に改訂する提案と理解でよいか。 ⇒良い、人口ビジョンの見直しで改訂していきたいと考えている。</li> <li>・人口ビジョンはどう使われるのか教えて欲しい。 ⇒将来的な人口推計、右肩下がりの現状を踏まえ、地方創生のために、どのような対策を</li> </ul>

打つのか検討材料にする。総合計画との整合性も図り、人口減少幅を抑えていきたい。  
⇒第1期策定時も目標人口について議論した。第1期計画と現状との乖離が大きいため、第1期計画策定時の数値を今後も目標値とすることに疑問が残る。そのため期待値も考えた上で現状より少し前の社会移動に戻すことを目標数値にした。  
空き家バンクを利用した30～50代の転入は12世帯33人あった。

・ダムの建設工事が始まれば、工事関係者が町に来る。その人たちに定住してもらえるように、町と一緒に作戦を練られるとよい。

・社人研は、客観的な立場での研究機関であり、信憑性の高い数値を出すという認識、位置づけでよいか。

⇒その認識で問題ない。

・本日の資料はあくまでも協議事項資料ということでよいか。

⇒次回会議で改定案を提示していきたい。

#### 4. 次期総合戦略素案について

・資料2 総合戦略新旧対照表に基づいて事務局より説明、委員からの意見については事前配布の資料において回答とする。基本的な方針は1期を踏襲し効果が出ているものは一層充実させ、成果が表れないものは改善し施策を推進していく。

・1期と同じく5年間推進、今後は毎年事業評価を行いPDCAサイクル確立させる。

#### 【質疑応答】

・例えば、数値目標の設定根拠はあるか。

⇒千畝記念館集客数については、過去に4万人を超えたこともあったので、それを目標にした。

・目標が高くないか。

⇒期待値も含めて高めの目標を設定した。

・どのように6次産業化、ブランド化を進めていくのか。

⇒商品PRなども含め農業振興係が担当である。商品化もされている。

・SNSについては、高齢者は利用できないと思うがどのように対応するか。

⇒この施策については交流人口増加を狙っている。若い世代も交流人口として足を運んでもらいたいと考えている。発信してくれた方にインセンティブなど、フォロワーを増やして人を呼び込みたい。例えば、宿泊料を安くするなど施策も考えていきたい。評判が拡散していく好循環を作りたい。

・数値目標は、設定理由がないと町民にわかりにくい。杉原千畝記念館集客数年間4万人という目標に対し、町民利用●人、町外利用●人という表記の仕方もあるのではないか。

・防災に関するワークショップ参加人数100人の数値根拠について。例えば、将来的に町民全員に参加していただくことを最終目標とし、その過程の数値である等の説明があれ

ば多くの方に理解いただけると思う。そのような書き方が可能なのであれば検討してはどうか。

⇒説明不足で申し訳ない。次回提示します。最終目標に対する説明はできる箇所とできない箇所があるので検討します

・ KPI の根拠をわかりやすくしてもらえたらと思う。これまでの事業については、ある程度 KPI の根拠がわかるが、SNS 等新しい KPI についてはわかりにくい。

⇒事業評価をしなければならないので、わかりやすい KPI としたい。

・ 安心して出産を迎えるための支援施策についても、施策を実施することで、どの程度人口減少を抑制できるとか、将来的なイメージをもって、5年間の目標を決めたほうがいいのではないか。

・ 第1期からの継続事業の KPI については、よく検討されており背景も理解できるが新しく設定した数値目標の根拠が分かりづらい。例えば、SNS や太陽光発電システム設置補助件数についても令和元年は126件の基準値から50件増の根拠は何か。

⇒SNS のフォロワー数が増えれば、情報発信が進んでいると考えられることから目標数値とした。

・ 太陽光発電システム設置補助については、件数より、どれだけ発電できるかが重要だと思う。

・ 人口問題が最大の問題と捉えているが、施策と課題の結びつきが弱いと思われる事業がある。

・ 関係人口の増加と、町民の健康づくりがどのように関係してくるか分からない。町民に利用してもらうことが関係人口増加につながるとの説明があると良い。

⇒複合スポーツ施設を生きがいくくりと健康づくりに活用し、町外からのスポーツ交流及び施設利用者も増やし、関係人口増加につなげたい。

⇒まち・ひと・しごと創生が目的である。人口関連の施策だけではないことをご理解いただきたい。

・ 定住自立圏8事業について具体的な事業は。

⇒エリアサービスマップの推進、幼児療育支援事業、生涯学習・学習情報誌の共同事業、男女共同参画推進事業、休日急患診療・休日歯科診療、地域情報放送事業（FM 放送）、生物多様性地域連携促進事業。現在第3次共生ビジョン策定中。

・ 美濃加茂市は若干人口が増加しているのには定住外国人が関係していると言われている。町民アンケートにおいても、この項目の関心が高かった。今のところ本町の定住外国人は多くないが、次期計画のどこに盛り込まれているか。

・ 多文化共生、外国人が多いことが良いまちとは一概には言えない。当然、問題もある。八百津町の方々がどう気持ちよく過ごせるかが大事。

外国人に手厚いことは良い事ではあるが損をする方がいてもいけない。

⇒加茂管内でも外国人は増えており、外国人との共生については重要なことだと認識し

ている。定住自立圏では、外国人との共生のメニューもあるので、加わることも考えていきたい。

・再生可能エネルギーから太陽光システムに内容が変わってしまっているのではないか。  
⇒国の補助金がないと実施できない事業もある。町は、エネルギービジョンを策定しており、今までの実績と動向から太陽光発電も増やしていきたいと考えている。目標をあきらめたわけではなく、事業は計画どおり考えていきたい。

・太陽光発電について、力を入れていくことが戦略的に適切か。  
⇒住宅の屋根に設置する太陽光発電システムのことであり、山林等の太陽光発電は補助の対象外である。現在も補助金の問い合わせや要望はある。今後検討していきたい。

・八百津で仕事があって稼げる状況を作っていかなければならない。事業所数が減少する中で操業支援の拡充、事業承継、工業団地の誘致、6次産業化・ブランド・新商品開発の補助金対応はどう考えるか。  
⇒十分に組み合わせていないこともあるので、今後検討していかなければならない。空き店舗の活用補助金や町外から通勤している従業員の方の町内への定住に対して企業へ補助している。  
工業団地などについては、大きな投資をしても団地が埋まらないこともある。  
例えば、倉庫を作りたいという相談があれば、融資や地元企業との相談、調整などの支援体制はつくってきたい。

・海外派遣について、高校生は対象ではないのか。  
⇒問い合わせもなく、慎重に協議したが、廃止方向で検討していきたい。

## 5. 事務局連絡

・次回第4回会議は2月下旬、その後パブリックコメントを経て3月末までに策定予定。  
パブリックコメントで修正が生じた場合は会長と協議する。